

消費者教育教材リスト 1

名古屋市消費生活センター 暮らしの情報プラザ

電話:052-222-9677

(2020年3月現在。対象欄空白は一般向き)

図書				
タイトル	対象	著者・編集	発行	内容
未来を変える目標 SDGsアイデアブック	小学生 ～一般	一般社団法人 Think the Earth	2018	SDGsの17個の目標について、未来を変えたアイデア事例がデータや写真と共に掲載されている。漫画も多用されていて読みやすく、社会の問題点を理解し、生徒自身が取り組める身近な行動を見つけやすい。グループ学習にも活用できる。ワークシートも掲載されている。
大学生が知っておきたい 消費生活と法律	大学生 ～一般	細川幸一	慶応義塾大学出版会 2018	大学生をとりまく消費社会を理解し、陥りやすい消費トラブルを解決するための一冊。法学部における消費者法のテキストとしてだけでなく、広く、消費生活のあり方を考える教養科目や家政学部等におけるテキストとしても活用できる。毎日の消費生活に関わる法を、生きていく上での知恵として学ぶことができ、一般成人にも役立つ。
消費者力が身につく！ロールプレイングシナリオ集	小学生 ～一般	(財)消費者教育支援センター	2018	子どもから高齢者にいたる様々な年齢層で問題となっているトラブル事例をもとにしたシナリオを21本収録。対象別に、学校編、特別支援学校・学級編、高齢者見守り編に分かれており、ワークシートも掲載されている。
協同学習がつくるアクティブ・ラーニング		杉江修治	明治図書出版 2016	本書は、協同学習を理解することでアクティブラーニングを実現しようという内容になっており、具体的な実践事例を多く掲載している。
この一冊でわかる！「改正民法」要点のすべて		早稲田リーガルコモンズ法律事務所	日本実業出版社 2017	民法改正の内容と実務への影響・対応をわかりやすく解説している。また、法律の専門的知識をお持ちでない方でもわかりやすいよう、平易な言葉で解説している。
小学校保健室から発信！先生・保護者のためのスマホ読本		今津孝次郎	学事出版 2017	小学生とスマホの関係について、トラブルを回避するための情報モラルだけでなく、コミュニケーション能力を中心とした心の発達についても考えられている。
心と体を蝕む「ネット依存」から子どもたちをどう守るのか	小学生 ～大学生	樋口進	ミネルヴァ書房 2017	ネット依存の実態と原因、脳のメカニズム、予防法、治療方法などについて、イラストを交えて解説。オンラインゲームやSNSにはまり、学校生活が破綻する子どもたちが社会問題になる中、子どもを守るための取り組みが考察されている。
スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう 情報モラルの授業	小学生 中学生	今度珠美他	日本標準 2017	動画サイト、アプリの利用、情報の信頼性、ネット依存など10項目をテーマに、情報モラルに関する課題を指導案にまとめた実践事例集。学校と家庭が一体となって取り組めるような構成になっている。
消費者教育講師養成テキスト 学ぼう！つくろう！やってみよう！消費者教育		神奈川県消費生活課	2017	消費者教育を行う上で大切な事や、講座を実施するためのポイント、企画のコツ、そのまま利用できる講座プランや資料を紹介。対象は未就学児から高齢者まで幅広く、教員の方にも参考にして頂ける一冊。
10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディアリテラシー	小学生 ～高校生	下村健一	岩波書店 2016	小学校高学年以降の子どもを対象に、ネット社会において情報を受け取る・届けるときの注意点が記されている。被害者にならない「賢い受け止め方」と、加害者にならない「正しい発し方」を考えさせる内容。
子どものスマホ・トラブル対応ガイド	小学生 ～高校生	安川雅史	ぎょうせい 2016	スマートフォンの普及率が高まる中、その利便性と問題点を子どもたちに理解させるための本。被害者にも加害者にもさせない情報モラル教育に役立つ。

タイトル	対象	著者・編集	発行	内容
海外の消費者教育 ーノルウェー・スウェーデン		(財)消費者教育支援センター	2016	2016年9月にノルウェーとスウェーデンで実施した消費者教育の実態調査報告書。北欧の消費者教育は消費者教育推進法のゴールでもある消費者市民社会構築の原点と考えられており、学校現場の実践例などを知ることができる。
ビジネス法務の基礎		森島昭夫	実教出版 2016	高等学校商業科用教科書を底本とした経済活動に関する法律の入門書。法律について、楽しい図や具体例、用語解説やアドバイスを用いて解説。消費者に関する法についてもわかりやすく体系化している。
新しい消費者教育 ーこれからの消費生活を考える		日本消費者教育学会 関東支部監修	慶應義塾大学出版会 2016	教員だけでなく、大学生がテキストとしても活用できる、消費者教育の入門書。消費者市民社会形成へ向け、実践的な能力を育成できるよう、発展的な学習の課題も提示されている。
食品表示検定認定テキスト/初級・中級		食品表示検定協会	ダイヤモンド社 2016	食品表示制度の複雑なルールや食に関する基礎知識について解説。
こどもあんぜん図鑑 スマホ・パソコン・SNS	小学生	藤川大祐	講談社 2015	ネットの仕組み、知らない相手から来たメールの対処法のほか、メールが原因のけんかなど、子どもたちが遭遇しそうな問題を具体的に取り上げ、わかりやすく解説。(授業でも活用できるワークシートがダウンロード可能)
金融商品なんでも百科		監修 伊東宏一	金融広報中央委員会 平成27・28年用	金融商品選択にあたっての考え方や、消費者が利用できる主な金融商品について、選び方のポイントや、それぞれの基本的特徴、リスク、税金、関連する法律などについて、中立・公正な立場からわかりやすく解説。
暮らしと金融なんでもデータ		監修 渡辺孝	金融広報中央委員会 平成26年度版	家計、金融資産、雇用、教育、住宅など暮らしと金融に関連した主要データを収録。
親子で学ぼう消費者教育 上手なお金の使い方 実践ワーク集	小学生	全国消費生活相談員協会	2014	小学生期に習得すべきお金に関わる経験や知識、技術を学ぶためのワーク集。自立した消費生活を営む力を身につけることを目的に作られた一冊。興味のあるテーマから、理解度に応じてチャレンジできる。
海外の消費者教育 ーイギリス・フランス・国際機関		(財)消費者教育支援センター	2014	消費者教育支援センターが2013年9月、10月にイギリスとフランスで実施した消費者教育の実態調査報告書。
ハンドブック消費者		消費者庁	2014	消費生活に関する各種法令・制度の解説、消費者政策の状況、関係機関の活動状況等について掲載されている。
先生・保護者のためのケータイ・スマホ・ ネット教育のすすめ	小学生 ～ 高校生	今津孝次郎	学事出版 2013	ケータイ・スマホ・ネットの危険性を指摘して予防法を示すというものだけではなく、人間のコミュニケーションという視野から新メディアを位置づけ、それらの利便性・不便性・危険性の三側面を整理しながら、付き合い方を考えさせる本。
お支払はどれになさいますか？ ～新しいお金の世界～	高校生 以上	全国消費生活相談員協会	2013	現金を待たなくても買い物ができるキャッシュレス社会において、新しい決済方法の知識を身に着けるために役立つ一冊。
消費者市民社会の構築と消費者教育		岩本 諭・谷村賢治 編著	晃洋書房 2013	「消費者市民社会」という新しい概念のもと、環境、行政、食品、商品・サービス、広告、デジタル産業、子どもを抱える家庭における消費生活の実態など、各執筆者がそれぞれの専門分野から、日本社会の在り方を考えるヒントを提示している。

タイトル	対象	著者・編集	発行	内容
池上彰のなるほど！現代のメディア③ 広告にだまされないために		ローラー・ヘンズレー	文溪堂 2011	現代メディアの数々について歴史からその付き合い方までを具体的な例とともに分かりやすく説明するシリーズ。本巻は広告について取り上げている。
ロールプレイングで学ぶ消費者トラブル 君ならどうするこんとき！Part2 改訂版		(財)消費者教育支援センター	2011	お店での買い物、ネット通販、クレジットカードの利用などのごく日常的な場面をテーマとしたロールプレイングのシナリオ集。トラブルに巻き込まれないための消費者としての判断力・交渉力を身に付けるのに役立つ。ワークシート付き。
海外の消費者教育2011 —韓国・スペイン・PERL		(財)消費者教育支援センター	2011	2011年3月に実施した海外における消費者教育の実態調査を取りまとめたもの。調査対象は、日本の制度・仕組みと共通点の多い韓国、ヨーロッパ内の消費者教育教員ネットワークの中心であるスペイン、ヨーロッパを中心とした消費教育の新潮流PERLの国際会議。
実践的消費者読本第5版		林 郁・圓山茂夫	民事法研究会 2011	複雑・多様化する現代社会問題を題材に、契約とサービス、衣食住、環境問題など消費者市民として必要な知識を分かりやすく紹介している。
考えてみよう これからのくらしとお金	小学生 ～ 高校生	東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ 金融教育共同プロジェクト	2011	金融教育についての学習教材。学年を特定せず、生活、社会、家庭科、道徳、総合的な学習の5つの教科・領域について、対話形式で授業を進めるものとなっており、子どもたちが自主的に学習できるように構成されている。(ワークシートや授業ガイドなどを収めたパソコン専用のDVD付き)
トラブル回避！中・高生のための法律ガイドブック	中高生 若者	喜成清重	日本加除出版 2010	新社会人として知っておきたい法律知識が満載。社会保障、ライフプランについてもわかりやすく解説。
講座づくりの実践マニュアル 知的障害者の生涯学習支援 ～いっしょに学び、ともに生きる～	障害者	オープンカレッジ東京 運営委員会	社会福祉法人東京都社会 福祉協議会 2010	身近なトラブル回避や金銭教育など、地域でできる講座を提案。講座で使用するワークシートや講師のリストもあり、すぐに実践に役立つ内容。(本とCDのセットです)
イラスト版お金のしごと 子どもとマスターする46のお金の知識	小学生	監修 西村隆男	合同出版	自立した消費者になるため、子どもたちに教えたいお金の価値、働き、尊さ等について、おこづかい、買物、クレジットカード、金融など、現実のお金の流れを通してイラストでわかりやすく解説。
やってみよう！自立支援ワークブック	障害者	東京都知的障害特別 支援学校就業促進研究会	角川学芸出版 2009	発達支援・地域生活支援のためのワークブック。「学ぶ・楽しむ」「くらす」「かかわる」の3つの領域を取り上げ、円滑な社会生活を送るために必要な知識を学べる。
イラスト版 みんなでごはん 子どもとマスターする選ぶ・つくる・食べる 食生活50の基本		服部幸應 監修 子 育てグッズ&ライフ 研究会 編	合同出版 2009	栄養や食材に関する知識から、食品を選ぶときのポイントや調理のコツに食事のマナーまで、知っておきたい食に関する幅広い知識をわかりやすく解説。イラスト満載で楽しく学べる。
ブックレットシリーズ73 今、知っておきたい！表示とマーク		(社)全国消費生活相談員協会	2009	商品が多様化・複雑化する中、賢い商品選択をするためには、表示を正しく読み取ることが不可欠です。食品表示を中心に、悪質商法でよく販売される商品の品質についての表示やマークについて解説した一冊。
ブックレットシリーズ72 育てよう消費者知力 家庭でできる10才 からの消費者教育	小学校 高学年	(社)全国消費生活相談員協会	2009	第一章は家庭や学校で子どもと一緒に取り組めるワーク形式。「お祭りで500円 何に使う?」「洗濯名人になろう」「取扱説明書で読解力をつける」など、幅広いテーマを取り上げている。学習指導要領とのリンク表もあり。
くらしに役立つ食品表示ハンドブック 第3版		全国食品安全自治ネットワーク	2009	生鮮食品や加工食品など普段よく目にする食品の具体的な表示を例示し、わかりやすく説明。根拠となる法律の解説も充実。
くらしの豆知識		(独)国民生活センター	年刊	消費生活相談として寄せられた事例をもとに、くらしに役立つ情報を簡潔にまとめた本。
消費生活年報		(独)国民生活センター	年刊	全国消費生活情報ネットワーク・システム(PIO-NET)のデータ、商品テスト結果を収録。

タイトル	対象	著者・編集	発行	内容
ブックレットシリーズ74 法を学ぼう・はじめの・一歩 正義をさがそう	小学校 高学年	(社)全国消費生活相談員協会	2009	法とは何か？自由・責任・ルール・公平・正義について、生きる力を身に付けるために学ぶ本。
知っておきたい食べ物の話	高校生 以上	(社)日本化学工業 会	教育図書 2008	高校生以上を対象に写真やイラストを多用して栄養素の知識から食事のマナーまで、食にまつわる幅広い話題をクイズ形式で学習することができるように作成されている。
ブックレットシリーズ71 ごみから見つめるエコライフ		(社)全国消費生活相談員協会	2008	暮らしに直結しているゴミ問題を通して、広く環境問題を考える。
ブックレットシリーズ70 ぼくもしょうひしゃ、わたしも消費者	小学校 低学年	(社)全国消費生活相談員協会	2008	子どもたちに自分も消費者であること、消費者として行動する自覚をもたせ、考えさせることも目的に作成。
銀行のひみつ	小学生	学研キッズネット	2007	まんがで銀行の仕事や歴史などをわかりやすく紹介。